

船着場案内サイン整備指針（案）

平成30年3月

目 次

1. 基本理念	P1
2. 案内サイン整備の手順	P2
3. 情報提供の流れ	P9
4. 配置の考え方	P12
5. 表記の考え方	P14
6. 分かりやすい船着場のあり方	P18
7. 利用者ニーズに合った情報提供	P22
8. 非常時への対応	P24

1. 基本理念

誰もが分かりやすく、舟運の魅力を向上する案内

1. 船着場への分かりやすい案内誘導

各船着場への案内誘導を分かりやすく案内するための手順、情報提供やサイン配置、表記のルールづくり

- 案内サインの整備の手順
- 情報提供の流れ
- 配置の考え方
- 表記の考え方

2. 舟運の魅力を向上するサイン

水辺らしいシンボル性のある船着場サインのあり方の検討

- 分かりやすい船着場のあり方

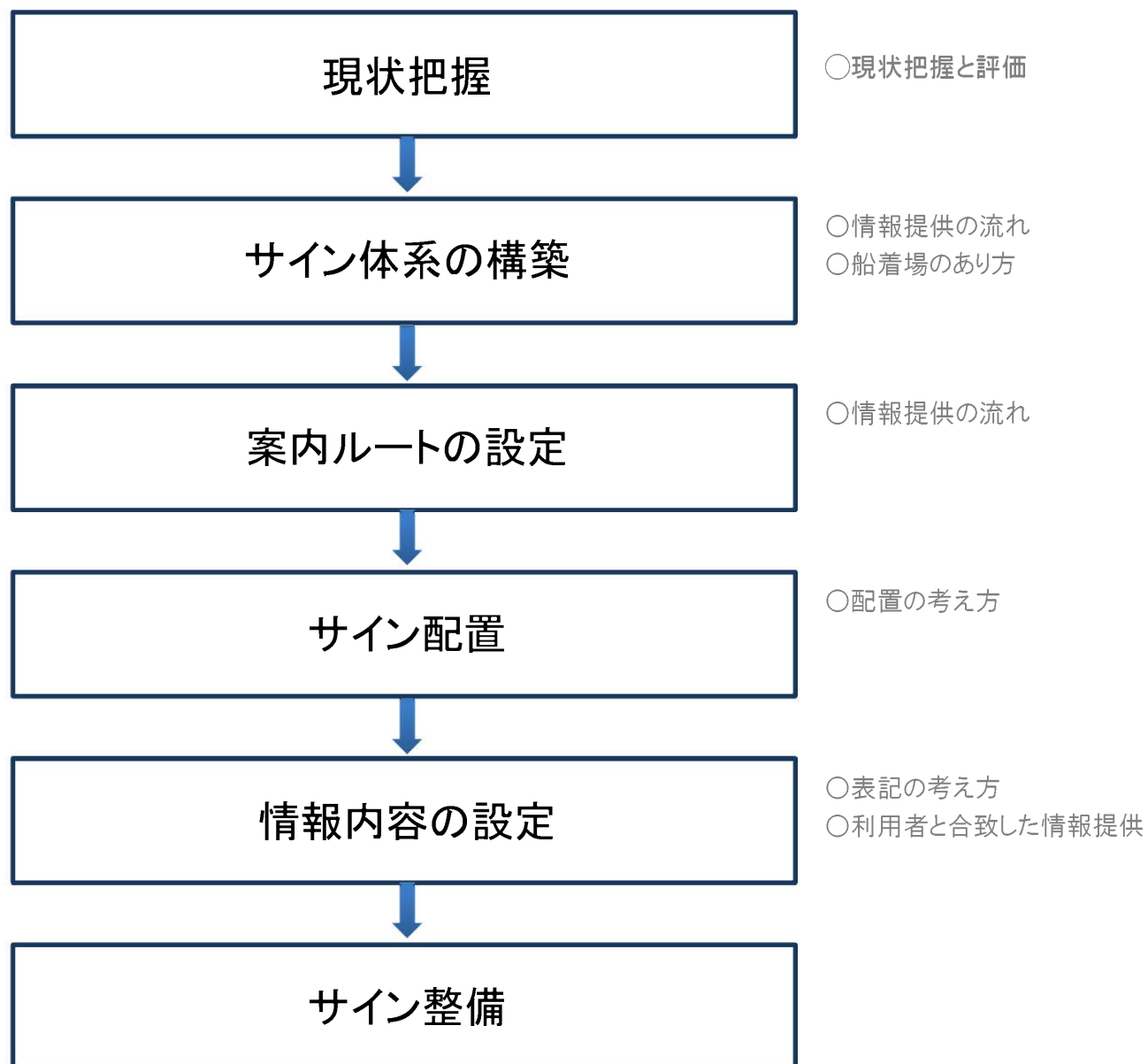
3. まちに寄与する情報提供

船着場におけるまちへの案内情報や災害時等の非常時の情報提供
アプリ、手持ちマップ等、他媒体との連携の検討

- 利用者ニーズと合致した情報提供
- 非常時に対応した情報提供
- 他媒体との連携の検討

2. 案内サイン整備の手順

整備フロー



※実際の整備に当たっては、他の関係指針等との整合を図ること

2. 案内サイン整備の手順

案内サインの現状把握と評価

「3-7.まとめと考察」で導いた「案内ルートを設定する際に考慮すべき事項」をもとに案内ルートの候補を複数絞り込み、それぞれ現況の案内環境を調査した結果を総合的に比較し、適切な案内ルートを設定することが望ましい。

現地の調査の手法は既存案内標識チェックシートを用いた行政側主体の調査とする。

ただし、ルートの特性上、行政側の視点による判断が困難な場合は、被験者に現地を歩いてもらいユーザー目線の課題を抽出するモニター調査、また人間工学的な視点でルートを検証するなど、異なる視点から得られた知見を反映することも有効である。

案内ルート設定の手順

3-7.まとめと考察で導いた「案内ルートを設定する際に考慮すべき事項」を評価基準とし、候補ルートを絞り込む

移動しやすい安全なルートか 点数評価 ○=2 △=1 ×=0

●照明が設置されている	○	△	×	○	△	×	○	△	×
●段差が少ない	○	△	×	○	△	×	○	△	×
●ルート上の幅員が十分確保されている	○	△	×	○	△	×	○	△	×
●横断歩道が少ない	○	△	×	○	△	×	○	△	×

迷いにくいシンプルなルートか

●分岐点や曲がる回数が少ない	○	△	×	○	△	×	○	△	×
●上下移動が少ない	○	△	×	○	△	×	○	△	×
●周辺への視界が開けている	○	△	×	○	△	×	○	△	×

水辺に近いルートか

●水辺沿いや水辺が見える	○	△	×	○	△	×	○	△	×
--------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

候補ルートA 合計○○点

案内ルート
絞り込み

絞り込んだルート上の案内環境を調査し、課題を抽出する。

**候補ルート上の
既存サインチェック**

既存案内標識チェックシートを用いた現況調査・現状把握

課題抽出・評価

**案内ルートの確定
サイン整備段階へ**

ルートの特性上、行政側の視点で判断が困難な場合

ユーザー目線の知見を反映

ユーザー目線の検証

モニター調査

人間工学的検証

2. 案内サイン整備の手順

既存案内標識チェックシート《参考例》

国土交通省総合政策局による「案内標識点検の手引き」に示されるチェックシート項目を参考に作成

出展：「観光地のためのひと目でわかる案内標識
一計画・設置・管理マニュアル」
発行：観光地域づくり・案内標識研究会

既存案内標識チェックシート（事前調査）

事業主体 _____ 調査地(対象エリア)： 候補ルートAエリア

案内標識整備実績の有無とその概要	<ul style="list-style-type: none"> ●案内標識設置数： 基 ●設置年度： 年度 ●設置エリア： _____ ●サイン配置図： 有 ・ 無
整備にあたって活用したサイン整備マニュアル	有 ・ 無
外国人観光者を意識したサイン整備実績の有無とその概要	<ul style="list-style-type: none"> ●表記言語： 英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語・その他 ●ピクトグラム表記： 有 ・ 無 ●情報の掲載基準： _____ ●外国語表記の監修： _____
その他 観光案内所等の観光案内サービスの有無	<ul style="list-style-type: none"> ●観光案内板設置数： _____ ●設置場所 (_____) ●外国人のための有人対応： 有 ・ 無 対応言語： 英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語・その他 ●案内マップおよび観光パンフレットの配布： 有 ・ 無 ●表示： i マーク ・ ? マーク ●その他のサービス(デジタルサイネージ等)

既存案内標識チェックシート（現地調査）

事業主体 _____ 調査地(対象エリア)： 候補ルートAエリア

サイン整理番号 No. A-1	誘導表示 ・ 位置表示 ・ 広域案内図 ・ 周辺案内図
調査地点カテゴリ	交通拠点構内 ・ 交通拠点前 ・ 分岐拠点 ・ 道中 ・ バスのりば ・ 観光資源 ・ その他 (_____)
表記言語の種類	英語 ・ ハングル ・ 中国語(簡体字・繁体字) ・ (_____)
表記言語の連続性	表現の連続性はあるか
サインの顕在性	周辺環境の中で目立つ存在か
設置位置の適切さ	動線上における視認性確認
地図掲出の向き	サインに向かって：前方を上向き ・ 北を上向き ・ その他 (_____)
目的施設の表現	目的地が見つかりやすい表現か
特記事項等 サインの状態等	

2. 案内サイン整備の手順

モニター調査の方法 《本年度社会実験の例》

調査背景・目的

昨年度より社会実験の取組として効率的な導線や誘導手法(サイネージの場所、表記等)を検討していた。

本年度はその取組として、最寄り駅(3箇所:お台場海浜公園駅、台場駅、天王洲)から船着場まで、乗船を希望する参加者がどのようなルートでたどり着いているのか、また、どんなところで迷いが発生しているかについて、アクチュアルデータにて把握するため、本調査を実施。

また、目的地にたどり着くまでに、今回仮設置した案内サインがどれだけの寄与をしたか、どんな点で不安を感じたかという点も、アンケート調査を行った。

回収サンプル

(単位:人)	アンケート	位置情報記録
1 天王洲ルートA_若年層(20-49歳)	17	屋内環境のため
2 天王洲ルートA_高齢層(50-69歳)	17	未実施
3 お台場海浜公園ルートB_若年層(20-49歳)	16	14
4 お台場海浜公園ルートB_高齢層(50-69歳)	17	15
5 お台場海浜公園(台場)ルートC_若年層(20-49歳)	17	14
6 お台場海浜公園(台場)ルートC_高齢層(50-69歳)	16	14
全体	100	57

※位置情報調査については、一部データエラーがあったため、サンプル数が変動しております。

調査手順

1. 事前準備

調査項目を事前設定し、調査ルートについて「地理感」がない人を集め、かつ「年齢」「地図へのリテラシー」による影響を比較できるように対象者条件を以下の通り定め、モニターのリクルーティングを行った。

▼対象者条件(※左下「回収サンプル」も参照)

- 性別、年齢:男女20~49歳 / 50~69歳
- 近隣エリア居住者除外
- (港区・台東区・墨田区・江東区・品川区・目黒区・大田区 以外)
- 天王洲アイル/お台場海浜公園 非利用経験者
- 非事前情報収集・ネット非利用者
- アンドロイド利用者
- (※位置情報記録アプリ利用に、AndroidOSが必要なため)

2. 実査当日

-9月30日(土) 1日目→お台場(ルートB,C)

□対象者に位置情報を把握できるアプリを起動してもらい、地図を見ながらそれぞれ「お台場海浜公園駅」「台場駅」から船着場まで歩いてもらった後、船着場でタブレットでアンケートに回答してもらった。

天気:曇り
(最高:24度/最低:18℃)

-10月1日(日) 2日目→天王洲アイル(ルートA)

□位置情報アプリは使わず、船着場にてアンケートを実施した。

天気:晴れ
最高:25℃/最低:16℃)

3. 実査終了後

アンケートと位置情報を基に分析を行った。

2. 案内サイン整備の手順


ユーザー目線での検証をするモニター調査の手法 ～抜粋～ 《本年度社会実験の例》

調査票(タブレット入力式)

● セレクト条件: 【○】でと答えた方
 ● 必須入力(全項目)

【お台場臨海公園】

▼ 以下の画像をご覧ください。▼



Q8 あなたは船着場に通りつくまで、以下の物をどれくらい参考にしましたか？

【必須入力】

	1 参考に した	2 少し参 考にした	3 あまり参 考にし ていない	4 参 考し て な い
1. 以前ここで来た時の記憶 (来たことがある人)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 配布地図	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 海や運河の方向	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 乗り手の動き	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【案内サイン】				
5. (検査途中)A	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. (検査途中)B	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. (検査途中)C	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. (検査途中)D	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ここをタップしてページを移動

● セレクト条件: 【○】でと答えた方
 ● 必須入力
 ● 必須F.A: 必須入力

【天王洲】

▼ 以下の画像をご覧ください。▼



Q5 あなたは、ルート上のどの区間で「船着場を見つけ」と思いましたか？
以下の地図に記載した区間から、あてはまるものをお選びください。

【必須入力】

区間1
 区間2
 区間3
 区間4
 その他(具体的に) _____

ここをタップしてページを移動

● 必須入力

▼ 以下の画像をご覧ください。▼



Q16 上記の「船着場の案内サインのイラスト」は、実際の船着場のイメージと合っていると思いますか？
それぞれのイラストについてお答えください。

【必須入力】

1. 合っている
 2. まあ合っている
 3. どちらともいえない
 4. あまり合っていない
 5. 合っていない

ここをタップしてページを移動

● 必須入力
 ● F.A: 必須入力
 ● 自由回答欄: あてはまるものはない

Q18 あなたが、船着場に「あると便利」に感じる情報としてあてはまるものを、以下から全てお選びください。

【必須入力】

1. 船の運航状況
 2. 船の現在地
 3. 船の行先ルート
 4. 船の特別表
 5. 出発地の船着場周辺の観光スポットご紹介
 6. 行き先の船着場周辺の観光スポットご紹介
 7. その他(具体的に) _____
 8. あてはまるものはない

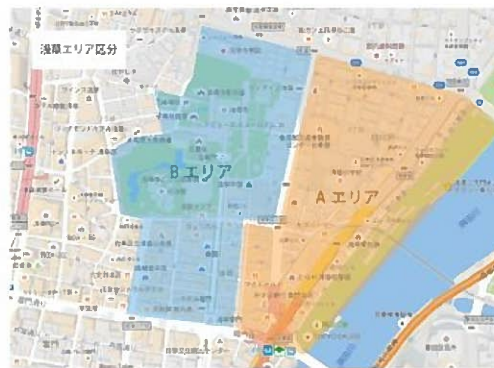
ここをタップしてページを移動

2. 案内サイン整備の手順

人間工学的検証の調査手法 《首都大学東京による調査(2016年12月実施)の例》

調査手法

浅草エリア区分設定



天王洲エリア区分設定



◇調査概要

調査対象者: 大学生(日本人・海外留学生、水上バスの利用経験なし)

浅草エリアA班 大学(院)生3~4人×2グループ

B班 大学(院)生3~4人×2グループ

天王洲エリアA班 大学(院)生3~4人 1グループ

B班 大学(院)生3~4人 1グループ

装置: ・アイマーク(Tobii Pro Glasses 2)

・ビデオカメラ

・カメラ



◇方法: [視線計測調査]

- ①調査対象者にアイマークを装着する。
- ②実験参加者は調査対象者に、観光タスクを終えてから水上バス乗り場に行ってもらおう伝える。
- ③調査対象者に浅草駅・天王洲駅をスタート地点として歩行をしてもらう。
- ④歩行中は魅力的だと思ったポイントの写真を撮ってもらい、歩行後に経路に関するヒアリングを行う。
- ⑤上記調査により、「街歩きの魅力度」と「視線の動き」のふたつを解析し、ルート設定を検証する。

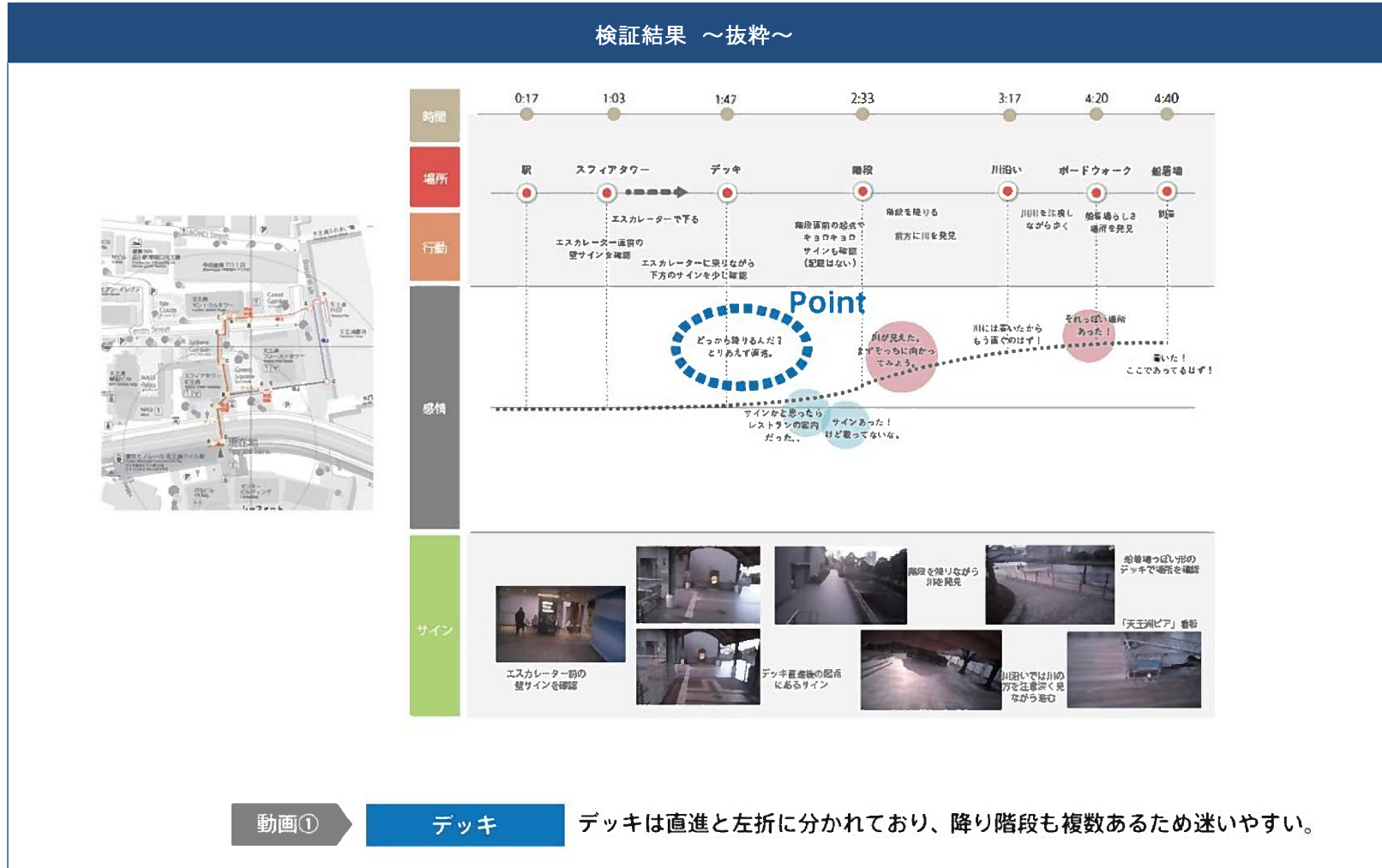
AM	10:00	浅草駅付近にて内容説明 tobii 装着	PM	15:00	浅草駅付近にて内容説明 tobii 装着
	10:30	街探索(うち視線計測15分)		15:30	街探索(うち視線計測15分)
	11:30	浅草駅付近にて tobii 装着		16:30	浅草駅付近にて tobii 装着
	11:45	調査①-A 開始		16:45	調査①-A 開始
	12:00	tobii 装着		17:00	tobii 装着
	12:15	調査①-B 開始		17:15	調査①-B 開始
	12:30	ヒアリング		17:30	ヒアリング
	13:00	移動			



浅草・天王洲各エリアについて、「街の魅力度」「視線の動き」と2回調査を実施

2. 案内サイン整備の手順

人間工学的検証の手法 ‹‹首都大学東京による調査(2016年12月実施)の例››



3. 情報提供の流れ

各場所毎に適したサイン体系にもとづき、利用者が分かりやすい案内ルートの設定や情報提供を構築する

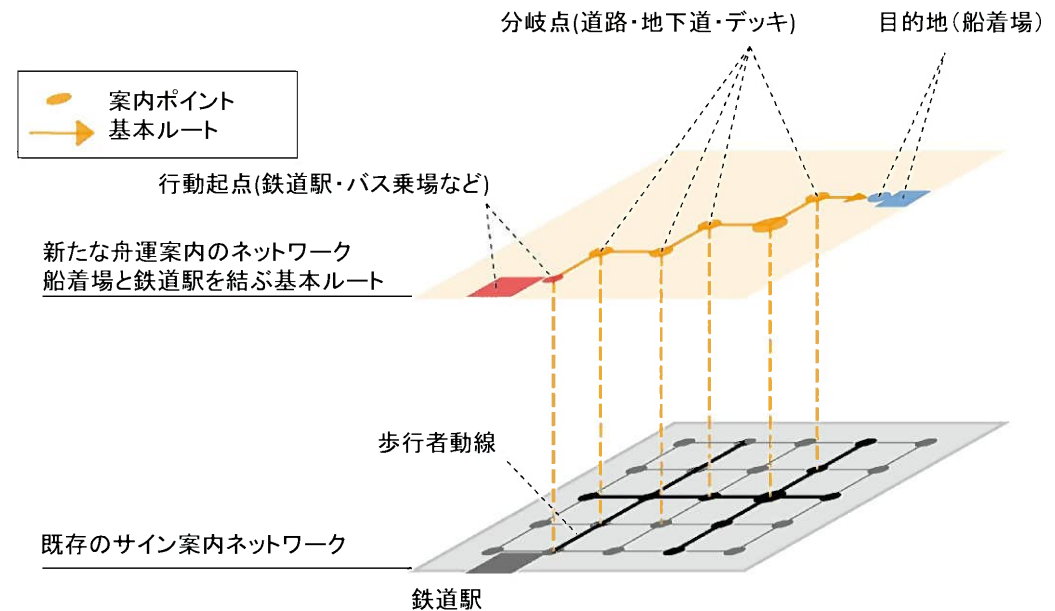
1. 案内誘導の基本的な考え方

まちの構造を踏まえ、行動起点から船着場までの分かりやすい案内ルートを設定し、連続的に案内誘導を行う。

既存の公共サイン・公共交通機関の案内・誘導サインとのネットワークや情報の連携を図る

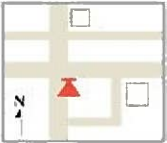
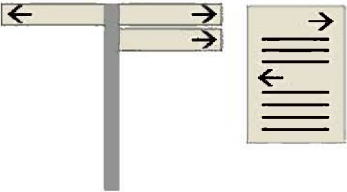

行動起点では、船着場の位置関係を把握できる情報提供を行う。
(初動での確実な案内誘導が求められる)

※既存の観光案内システムと連携し、地域の魅力を伝えるためのネットワークを構築していくことが課題。



3. 情報提供の流れ

2. サインの種類

サインの種類	サインのイメージ	設置目的
地図案内サイン		地図等を活用して現在地や、位置情報(駅や船着場)などを提供するサイン
誘導サイン		矢印等により観光地や施設の方向、距離などの情報を示すサイン
位置サイン		名称やピクトグラムにより施設(船着場など)の位置を告知するサイン ※舟運やまちに関する情報掲出の検討が必要

3. 情報提供の流れ

3. 情報提供の流れに対応するサインの種類

1. 行動起点

- ・行動の起点となる駅出口(または改札口)付近
- ・観光案内所・観光施設など、二次的行動起点

2. 主要分岐点

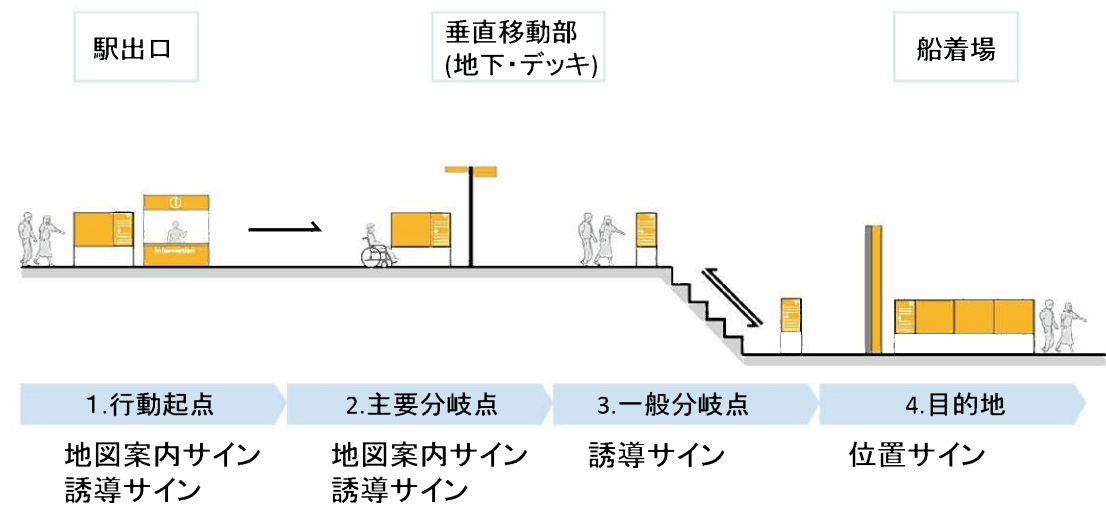
- ・主要な道路(通路)の交差する分岐点

3. 一般分岐点

- ・道路(通路)の交差する分岐点
- ・エレベーター、階段など垂直移動部付近

4. 目的地

- ・船着場周辺



4. 配置の考え方

案内ルート上を踏まえ、サインを見つけやすく分かりやすい位置に配置する

配置の考え方

分かりやすい位置への配置

- ・誘導サインは分岐点かつ、動線上から視認しやすい場所に設置する。
- ・目的地となる各施設入口かつ、動線上から視認しやすい場所に位置サインを設置する。

情報が途切れない配置

- ・直線道路については、歩行者が不安に陥らないよう、300m～500mに1箇所程度、誘導サイン等を補完的に配置することが望ましい。

景観への配慮

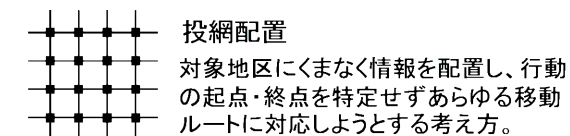
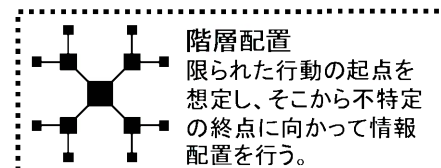
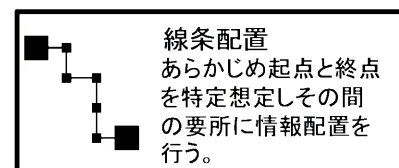
- ・道路状況や建物、街並み等の地域の実情に配慮した配置・設置を行うことが好ましい。

視認性に配慮した設置

- ・街路樹や屋外広告物等との関係に留意し、視認性を損なわないよう設置する。

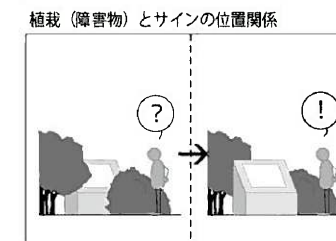
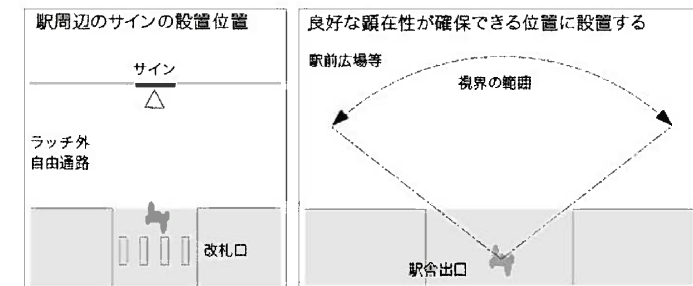
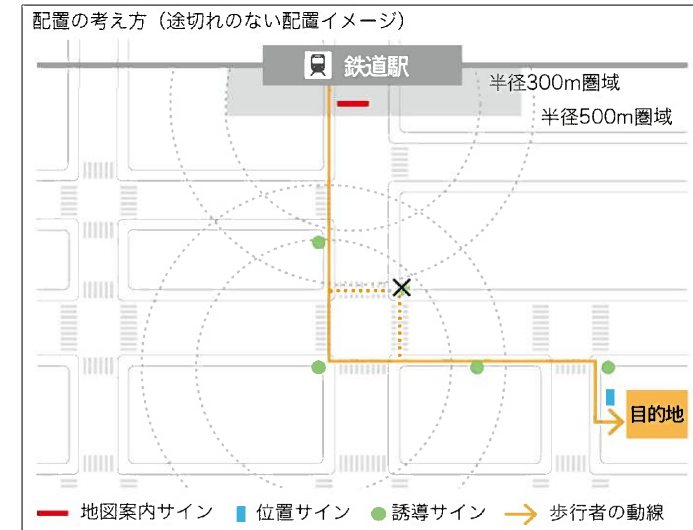
線条配置を基本とした配置計画

駅→船着場への案内は線条配置とし、それ以外は階層配置を用いる。



- サイン：行動の起点・終点
- サイン：移動上の分岐点・拠点
- 歩行者動線

※国内外旅行者のための分かりやすい案内サイン標準化指針/東京都を踏まえ作成



4. 配置の考え方

サインの向き

(1) 広域案内地図・地域案内地図は北を上とする。
(区域の形態や周囲との位置関係が定型的に把握されている場合)

(2) 周辺案内地図はサインに向かって前方を上とする。
(次の歩行行動に直結する案内図の場合)

サインの掲出高さ

歩道空間上に張り出す場合は、下端を路面より2,500mm以上(歩道の建築限界)確保する。

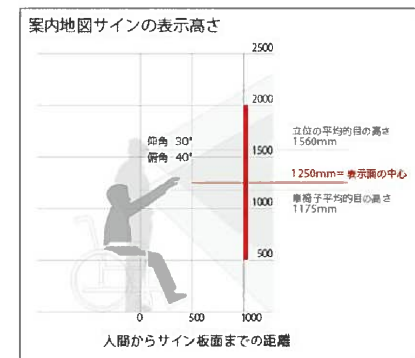
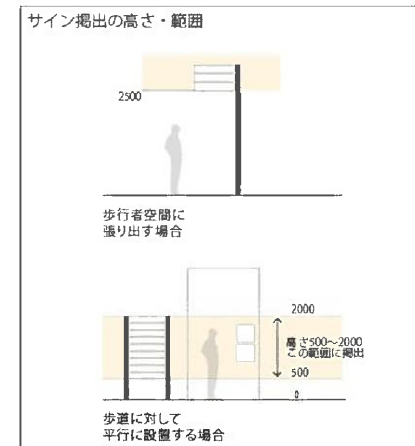
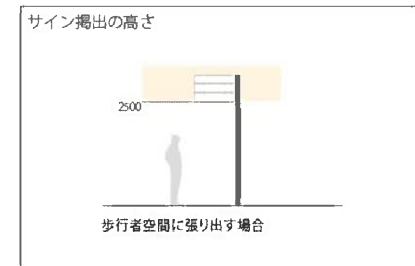
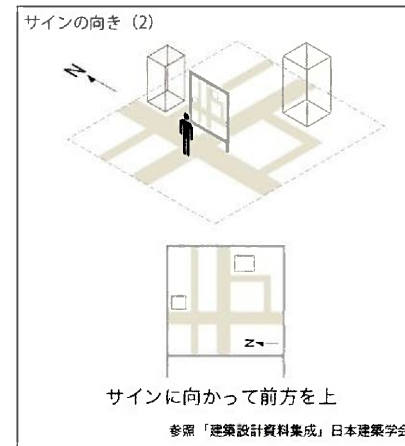
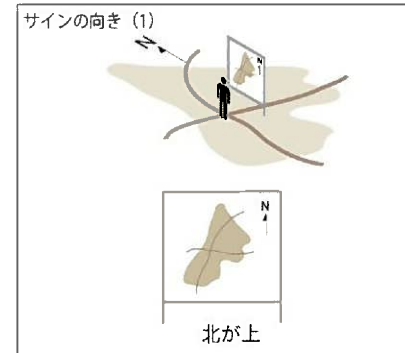
サインの掲出高さ・範囲

歩道に対して平行に設置する場合は、歩行者の見えやすい高さ500～2,000mmの範囲に表示面を掲出する。

設置場所に制約がある場合(ガードパイプ設置等)は、できるだけ見えやすい高さに設置する。

案内地図サインの表示高さ

案内地図サインは、車いす利用者と立位の利用者の双方が見やすいよう、地図面の中心高さを1,250mm程度とする



5. 表記の考え方

舟運を統一的に認知してもらうため統一した名称、ピクトグラムを掲出する。
 ※船着場間の表記の統一化は今後の検討課題

・多言語表記は和英2ヶ国語を基本とする。地域の状況に応じて、その他の言語を併記する

・ピクトグラムと名称の組み合わせを基本ルールとし、表記レイアウトを統一化する

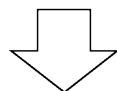
■船着場名

お台場海浜公園社会実験における表記例(既存の表記名)

※ピクトグラムはJIS規格の図柄を使用した横組



お台場海浜公園海上バス発着所
 Odaiba Marine Park Sea-bus Terminal



汎用性の高い表現としての表示

・定期便だけでなく多用途の船舶が利用する
 汎用性の高い表現として
 和文:「～船着場」
 英文:「～Pier」《東京都産業労働局指針参考》とする



お台場海浜公園船着場
 Odaiba Marine Park Pier

今後の課題:ピクトグラム(船着場の統一マーク)は位置付けを明確化した上で、他の交通モードの一つとして認識できるよう、「情報としての統一性」を確保することが重要である

5. 表記の考え方

■書体

サインに使用する書体は、現在一般に普及し、可読性や判読性に優れた、ゴシック系書体を使用することが望ましい。以下に参考としてヒラギノ角ゴシック、フルティガ書体を示す。

日本語(基本書体):ヒラギノ角ゴシック pro W5

あいうえおかきくけこアイウエオカキクケコ
お台場海浜公園船着場天王洲ピア

数字・英文:Frutiger 55 Roman

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz1234567890

※国内外旅行者のための分かりやすい案内サイン標準化指針/東京都を踏まえ作成

5. 表記の考え方

■文字組み

横組みは最も一般的な組み方で、他言語との併記も容易である。縦組は、表示面の横幅を小さくしたい場合等に用いる。

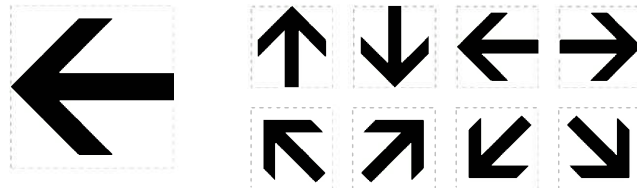
和文とその他言語との比率は、見やすさを考慮して和文:その他言語=1:0.65の比率とする。

※防災船着場の表記が必要な場合、その方法については都度調整を行くこととする。
その際、利用者の視点に十分配慮する。



■矢印 (JIS)

「公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団」ホームページ
標準案内用図記号ガイドラインを使用する。ダウンロード可能



応用例
標準案内用図記号にのみ掲載されている図記号

参考事例



5. 表記の考え方

(参考)

既存サインの表記：管理者により表記がばらばらである

	東京水辺ライン Tokyo Mizube Cruising Line	東京都観光汽船 TOKYOCRUISE	防災船着場	屋形船	
案内地区	東京都(道路)	吾妻橋船着場 Azumabashi Boarding Area	水上バス隅田川ライン発着場 Water Bus Sumida River Line Boarding Area	—	—
	東京都(河川)	※ピクトグラムのみ 凡例 防災船着場 Disaster Prevention Port	※ピクトグラムのみ 凡例 水上バスのりば Water Bus Stop	○	—
	墨田区	吾妻橋船着場 Azumabashi Bus Stop	※ピクトグラムのみ 凡例 水上バスのりば Water Bus Stop	—	—
	台東区	—	水上バスのりば Water Bus Landing Stage	—	—
	台東区(公園)	水上バスのりば浅草(二天門) Water Bus Landing Stage	水上バスのりば浅草 Water Bus Landing Stage	○ ※括弧書きにて名称表示 浅草東参道二天門防災船着場	—
	品川区	—	—	—	—
	都営	—	水上バスのりば Water Bus Stop	—	—
	東京メトロ	—	水上バスのりば Water Bus Stop	—	—
	東武	—	水上バスのりば Water Bus Stop	—	—
	つくば EX	—	—	—	—
	ゆりかもめ	水上バスのりば Water Bus Terminal	—	—	—
	誘導	墨田区	吾妻橋船着場 Azumabashi Water Bus Stop	—	—
台東区(公園)		水上バスのりば浅草(二天門) Water Bus Landing Stage	水上バスのりば浅草 Water Bus Landing Stage	○ ※括弧書きにて名称表示 浅草東参道二天門防災船着場	—
東京都観光汽船		—	水上バス お台場のりば ODAIBA PIER	—	—
案内記号 船着場	東京都	墨田区吾妻橋のりば Sumidaku-Azumabashi Terminal	—	○ 浅草東参道二天門防災船着場	—
	墨田区	—	—	吾妻橋船着場 Azumabashi Water Bus Stop	—
	港区	お台場海浜公園海上バス発着所 Odaiba Marine Park Sea-bus Terminal	—	—	—
	東京都港湾局	海上バス発着所 Water Bus Terminal	—	—	—

6. 分かりやすい船着場のあり方

遠方からの見つけやすさを工夫する

遠方から視認できる顕示性の高い船着場位置サインの設置

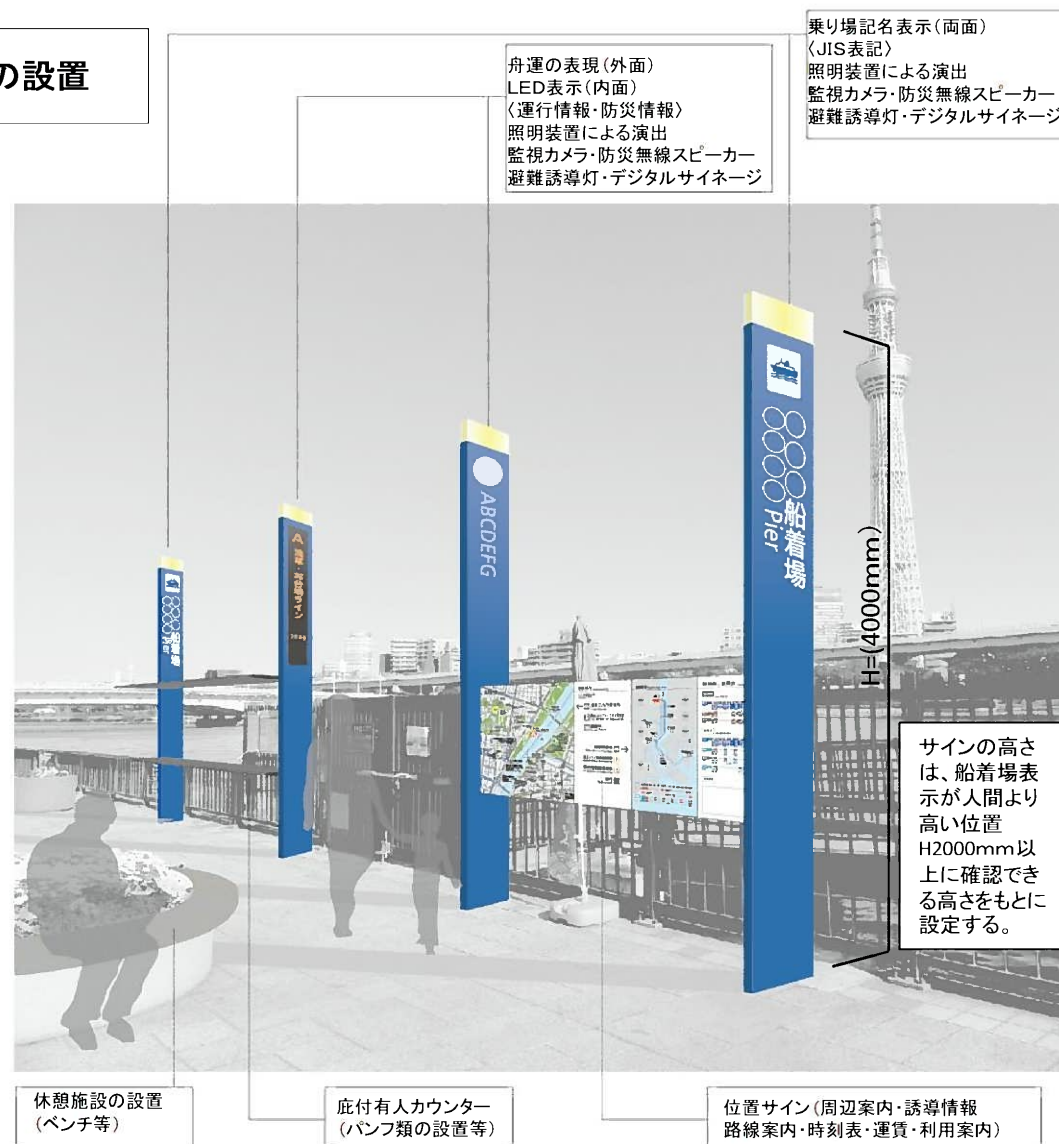
(参考)

上屋がなく、空間の広い船着場の場合

(参考)船着場位置サイン対応設備メニュー

船着場の環境・管理・運用ニーズに応じた設定が可能

乗船者・降船者への基本表示メニュー
<input checked="" type="checkbox"/> のりば表示
<input checked="" type="checkbox"/> 路線案内・時刻表・運賃利用案内
<input checked="" type="checkbox"/> 周辺案内表示 <input checked="" type="checkbox"/> 誘導情報
待合時の休憩施設メニュー
<input type="checkbox"/> ベンチ・サポーターなど
周辺環境・ニーズにより対応可能な設備メニュー
<input type="checkbox"/> 有人カウンター
<input type="checkbox"/> LED表示<運行情報・防災情報>
<input type="checkbox"/> 照明装置
<input type="checkbox"/> 監視カメラ
<input type="checkbox"/> 防災無線スピーカー
<input type="checkbox"/> 避難誘導灯
<input type="checkbox"/> デジタルサイネージ
管理、運用ニーズにより対応可能な設備メニュー
<input type="checkbox"/> 商用電源+バッテリーシステム
<input type="checkbox"/> 商用電源+ソーラー+バッテリーシステム



※実際の設置に当たっては、各管理者との協議をすること

6. 分かりやすい船着場のあり方

遠方からの見つけやすさを工夫する

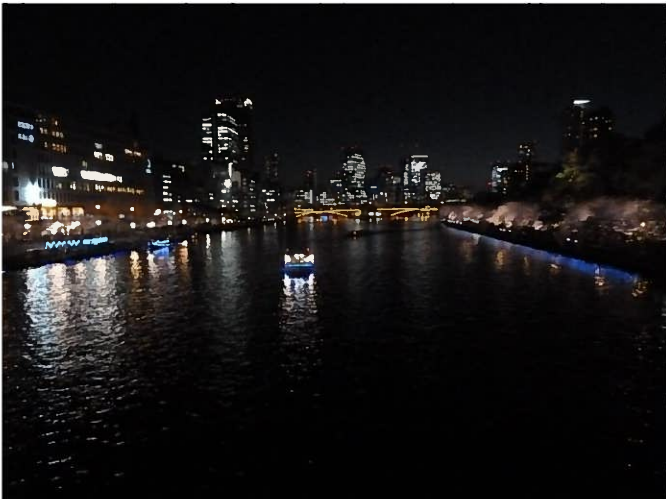
夜間の運航にも配慮し、水辺から見た船着場の顕示性を高める

栈橋のライトアップとポール照明



出展
ドイツハイリゲンダム船着場
<http://www.illumni.co/the-pier-at-heiligendamm-baltic-resort-germany-lights-over-the-sea-part-1/>

水中の照明 大阪市（天満橋周辺八軒家浜船着場）



出展
平成28年度
舟運活性化に向けた運航に関する社会実験等の取組
取組B 船着場、船着場周辺の賑わい創出 編

6. 分かりやすい船着場のあり方

至近・遠距離からの視認性に配慮した位置サインの設置

(参考)

上屋がある場合：上屋側面の梁・支柱を利用した位置サインの例



目的地サイン：位置表示+デジタルサイネージ(周辺案内・誘導情報・路線案内・時刻表・運賃・利用案内)

6. 分かりやすい船着場のあり方

制約された空間での位置サインの設置

(参考)

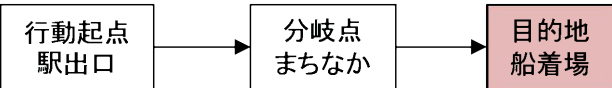
ゲートがない場合：汎用性の高いフェンスへの案内・位置サインの例



目的地サイン：位置表示・周辺案内・誘導情報
・路線案内・時刻表・運賃・利用案内

7. 利用者ニーズに合った情報提供

乗船時の情報 ~舟運の運行に関する情報提供を行う~



〈路線図〉方針

- ・当該船着場に関する路線情報のみ表示し、分かりやすく単純化したレイアウトとする。
- ・路線の識別をしやすいするため、路線カラーを設定する。

〈時刻・運賃・利用案内〉方針

- ・乗船者に対する情報を再整理し、分かりやすい表示とする。
 - > 出発時刻毎から、路線の種別を主にした分類へ
 - > 毎日運行便と臨時便をカテゴリー分け
 - > 路線図と統一した路線カラーを展開
- ・情報更新の頻度が高い情報については、デジタルサイネージを活用した情報提供を検討する。
- ・一時的な情報掲出などに対応できる、ポスターケース型の掲示板の仕様を検討する。

これらの情報を効率的に提示するためには、運航事業者及び船着場管理者と連携して、船の運航情報を一元的に取り扱うシステムを運用する必要がある

■ 路線図・時刻 運賃 利用案内(参考)

○ 掲載情報

〈路線図〉

- ・路線名、路線記号、路線カラー
- ・船着場名
- ・各船着場で乗換え可能な公共交通機関(路線名、路線記号、路線カラー)
- ・アイコン化した主要な観光施設
- ・シェアモビリティ等
- ・(下段)路線リスト: 路線名と行先、所要時間等を表示

〈時刻・運賃・利用案内〉

- ・路線名、路線記号、路線カラー
- ・船着場名
- ・利用案内は注意事項や、連絡先など現状表記されている情報を再整理

ポスターケースの例: 横浜市公共サイン



路線図 Route view Map

時刻表・運賃表 Timetable and Fare

毎日運行 (平日・休日) 船着場

Line	出発時刻	乗車料	運賃	乗車料	運賃	乗車料	運賃	乗車料	運賃	乗車料	運賃
A Line	10:00	10:05	10:10	10:15	10:20	10:25	10:30	10:35	10:40	10:45	10:50
B Line	10:10	10:15	10:20	10:25	10:30	10:35	10:40	10:45	10:50	10:55	11:00
C Line	10:20	10:25	10:30	10:35	10:40	10:45	10:50	10:55	11:00	11:05	11:10

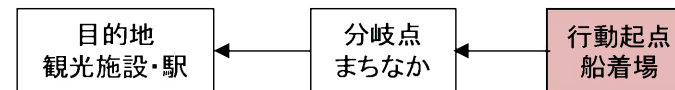
臨時便

Line	出発時刻	乗車料	運賃	乗車料	運賃	乗車料	運賃	乗車料	運賃	乗車料	運賃
A Line	10:00	10:05	10:10	10:15	10:20	10:25	10:30	10:35	10:40	10:45	10:50
B Line	10:10	10:15	10:20	10:25	10:30	10:35	10:40	10:45	10:50	10:55	11:00
C Line	10:20	10:25	10:30	10:35	10:40	10:45	10:50	10:55	11:00	11:05	11:10

利用案内

7. 利用者ニーズに合った情報提供

下船時の情報 ~まちへの回遊性を高める情報提供を行う~



周辺案内図・誘導表示方針

- ・周辺の既存サインとの情報の整合性に配慮した表記とする
- ・まちへの回遊を促すため観光施設の顕在化を図る
- ・多様なニーズに対応するため、デジタルサイネージを活用した情報提供を検討する

■周辺案内図・誘導表示(参考)

○掲載情報

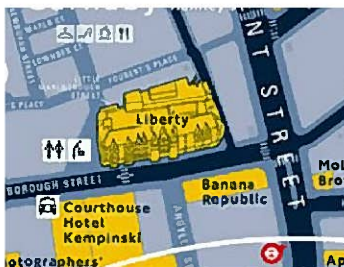
〈周辺案内図〉

- ・公共交通機関
- ・主要な観光施設・史跡
- ・主要な公共施設・観光案内所
- ・移動の目印となる施設・公園等
- ・広域避難場所・トイレ
- ・現在地を中心とした歩行圏500m

- ・観光施設のアイコン化
- ・シェアモビリティ等

〈誘導表示〉

- ・公共交通機関
- ・主要な観光施設・史跡など
- ・その他、トイレなど観光客に有用な情報
- ・観光施設のアイコン化



施設アイコン化の表記例(ロンドン)



徒歩圏の表記例(ロンドン)



※表示デザインはイメージで観光施設アイコンは今後調整する。
 ※記名表示については調整中。

BOND Street
 BOND Street →
 天王洲ふれあい橋
 Tennozu Fureai Bridge

8. 非常時に対応した情報提供

- ・デジタルサイネージ等を活用し、非常時における災害情報や避難場所等の情報提供を行う。

●東京都デジタルサイネージの例



非常時情報例：

緊急速報の情報提供や避難場所等の情報提供を行う。

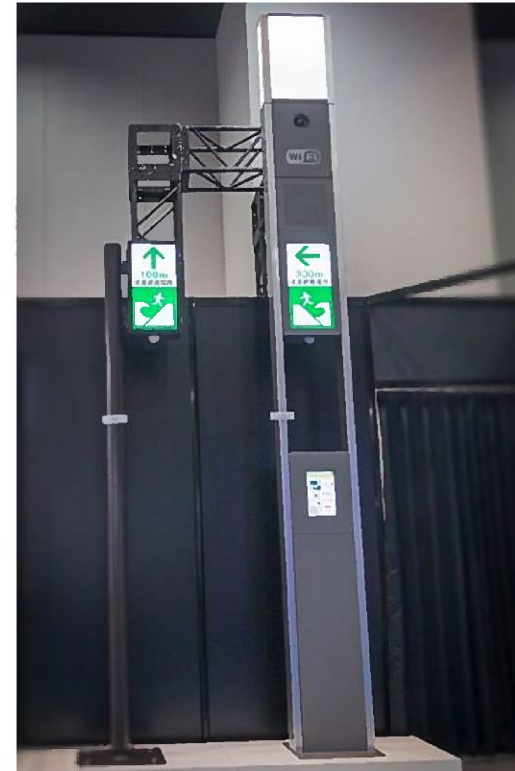


東京防災マップ情報



NHK緊急地震速報

●避難誘導サインの例



常時に照明灯に避難誘導、監視カメラ、デジタルサイネージ等を付帯
(避難情報伝達ポール・パナソニック)

資料:関連法規等一覧

法令・指針・文献名	発行・発布	発行者
観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン	平成26年3月	国土国交省観光庁
観光活性化標識ガイドライン	平成17年6月	国土国交省総合政策局
東京都福祉のまちづくり推進計画	平成26年3月	東京都福祉保健局
福祉のまちづくりをすすめるためのユニバーサルデザインガイドライン	平成18年1月	東京都福祉保健局
公共交通機関の旅客施設に関する移動円滑化整備ガイドライン	平成25年10月	公益財団法人交通エコロジーモビリティ財団
道路の移動等円滑化整備ガイドライン	平成23年8月	財団法人国土技術研究センター
道路標識設置の手引き(東京都版)	平成25年4月	一般社団法人 全国道路標識・標示業東京都協会
観光地のためのひと目で分かる案内標識計画・設置・管理マニュアル	平成17年9月	観光地域づくり・案内標識研究会
ひと目でわかるシンボルサイン標準案内用図記号ガイドブック	平成13年3月	公益財団法人交通エコロジーモビリティ財団
国内外旅行者のための分かりやすい案内サイン標準化指針【歩行者編】	平成27年2月	東京都産業労働局
JIS Z8210 案内用図記号	平成28年3月改訂	一般財団法人日本規格協会